

2022年3月期（2021年度） 決算説明会

2022年5月18日
日本精化株式会社



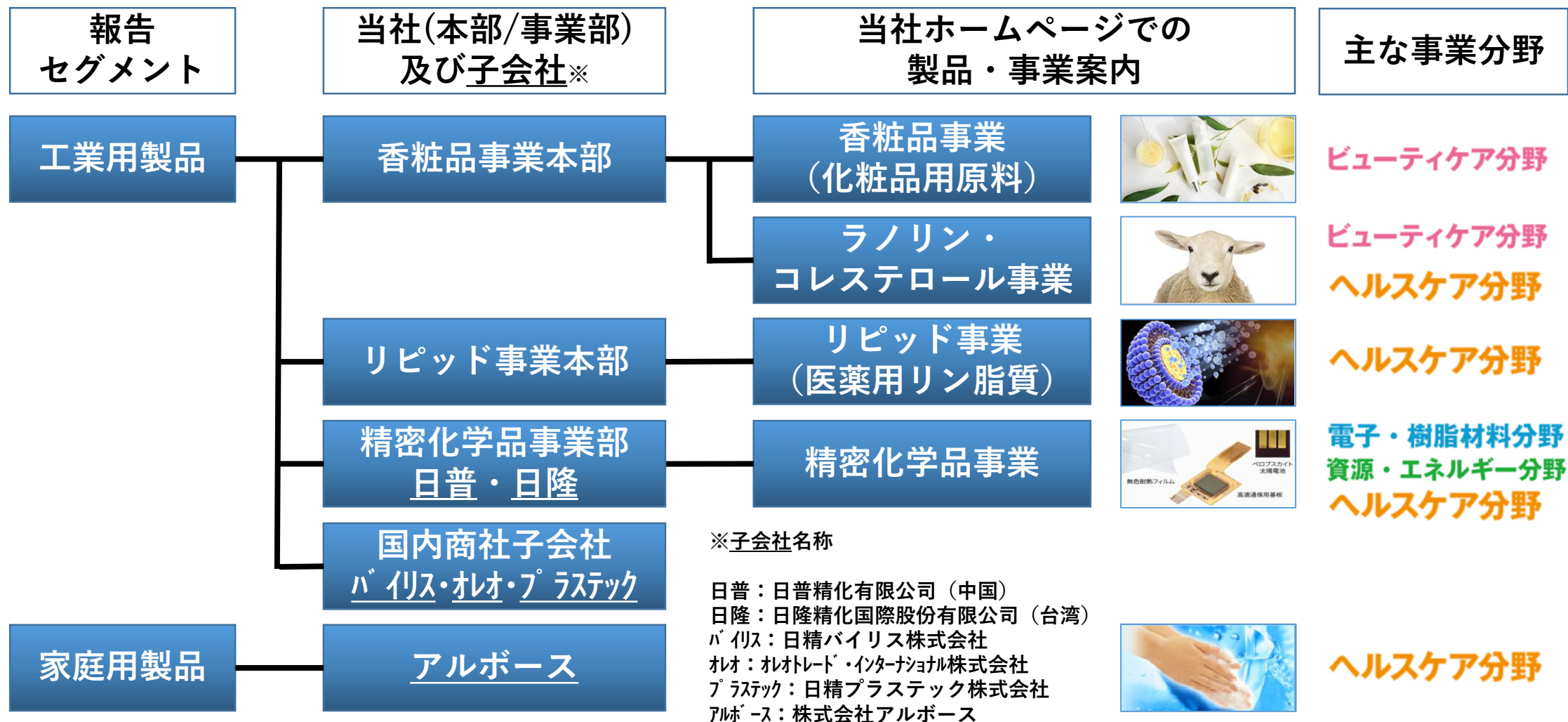


1. 日本精化グループの事業領域



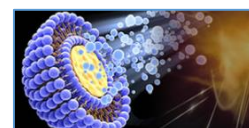


1. 日本精化グループの事業領域



※子会社名称

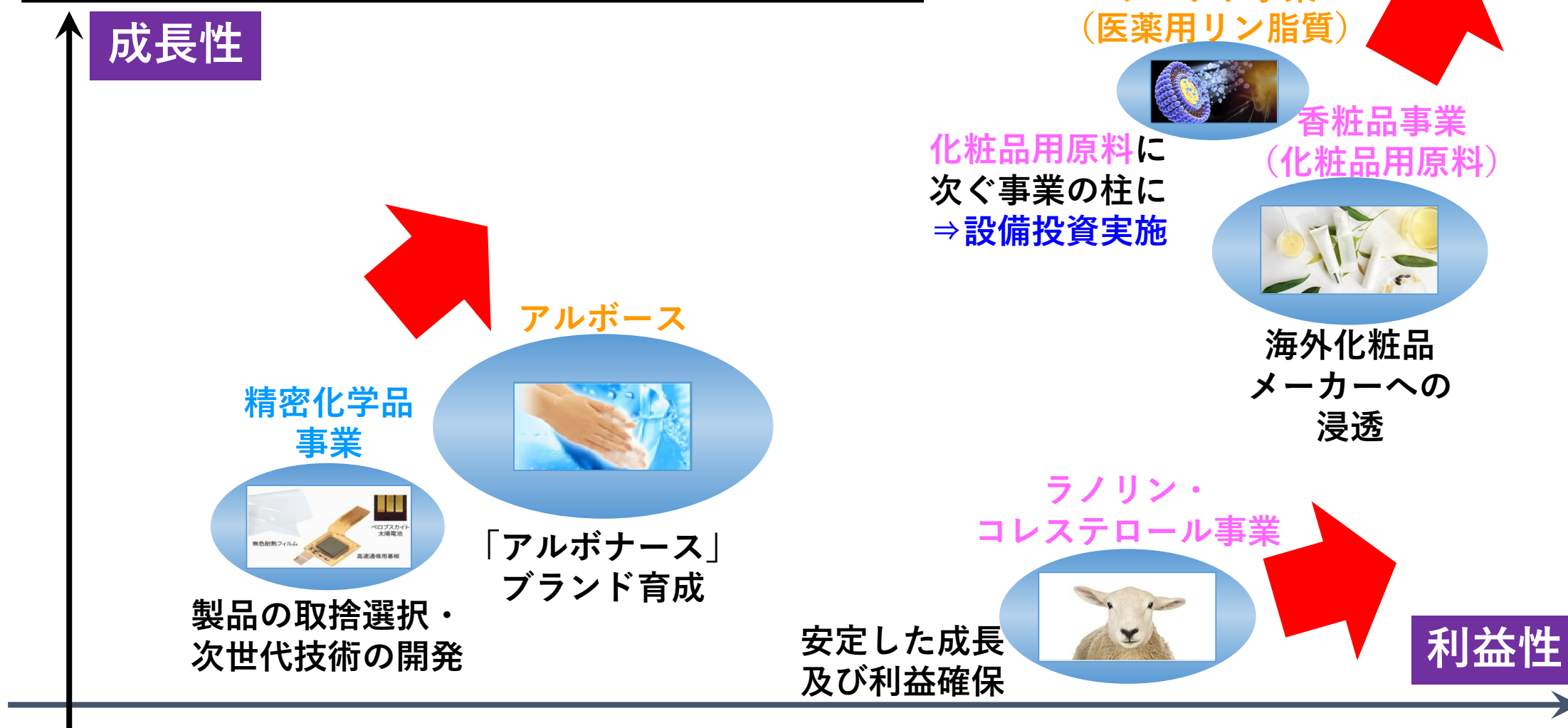
日普：日普精化有限公司（中国）
 日隆：日隆精化国際股份有限公司（台湾）
 バイリス：日精バイリス株式会社
 オレオ：オレオトレード・インターナショナル株式会社
 プラスチック：日精プラスチック株式会社
 アルボース：株式会社アルボース





1. 日本精化グループの事業領域

主要事業ポジション及び戦略イメージ





1. 日本精化グループの事業領域

化粧品事業（化粧品用原料）

- ・ スキンケア・ヘアケア・メイクアップ用原料で顧客に付加価値を提案
- ・ 医薬分野で培った技術を応用したリン脂質素材、化粧品機能に付加価値を提供する機能性油剤、美しく健やかな肌に細胞レベルから導く生理活性物質等を提供

化粧品原料事業



リン脂質素材 機能性油剤 生理活性物質

RSPO



持続可能なパーム油の生産・利用を目指す国際的な認証制度である「持続可能なパーム油のための円卓会議(RSPO)」の認証を取得

ECOCERT/
COSMOS



COSMOS
APPROVED

有機認証の国際機関であるECOCERT/COSMOSの認証を得た製品をラインナップ

- ・ 植物由来原料の使用、遺伝子組み換え原料不使用を通じて、生物や環境に対する安全性、持続性にも配慮した製品開発に取り組む

Non-GMO

「安心・安全」を基本とした化粧品原料の製造のため、遺伝子組み換え原料を使用しない製品を順次拡大



1. 日本精化グループの事業領域

ラノリン・コレステロール事業

- ・ **ラノリン**は、毎年刈り取られる羊毛に付着した脂質成分を精製して得られる天然油脂で、化粧品や医薬品の基材として使用
- ・ ラノリンから得られる **コレステロール**は、人間の皮膚や毛髪にも含まれる脂質成分で、化粧品や医薬品の他、エビ飼料添加剤やビタミン原料に使用
- ・ ラノリン・コレステロールの加工・精製過程から得られる **副産物もアップサイクル**して化粧品や工業用原料として有効利用
- ・ 羊を傷付けず、人にも優しい **環境循環型のサステナブル素材**として、化粧品原料は「Ecolano」、工業用原料は「LanoAce」として展開

Ecolano™



日本精化ラノリンキャラクター
「エコラ」 「ラノ」

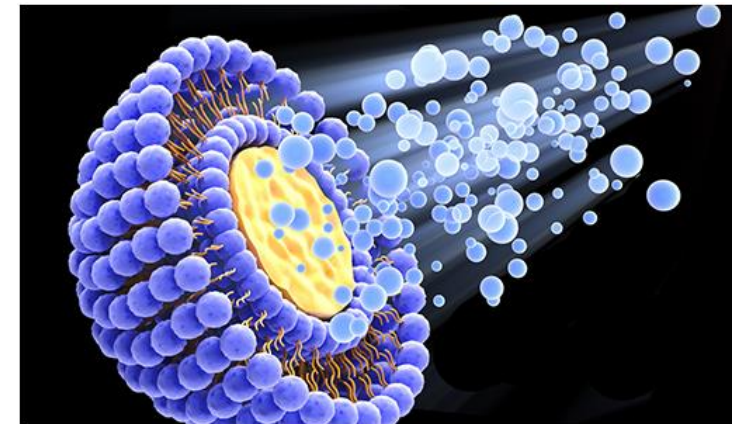


1. 日本精化グループの事業領域

リピッド事業（医薬用リン脂質）

- ・主にリン脂質を主成分とするナノサイズのカプセルであるリポソーム製剤や、最近承認されたコロナウイルスワクチンに代表されるLNP（リピッドナノパーティクル、脂質で構成されるナノ粒子）製剤などの製造に使用
- ・リポソームやLNPに薬効成分を詰めることで患部への輸送が改善、治療効果を高め副作用を軽減することで患者の負担を低減し、生活の質向上に貢献
- ・簡単にリポソーム調製可能な「Presome(リン脂質複合体)」の供給及びGMP（医薬品の製造管理及び品質管理の基準）対応の製造等でお客様の製剤開発をサポート
- ・社会的要求が高まるアンメットメディカルニーズ※やドラッグ・リポジショニング※に対応する独自製品の開発と、これらを用いた川下分野の研究開発を強化

※アンメットメディカルニーズ：まだ有効な治療方法がない疾患に対する医薬品・医療への要望
ドラッグ・リポジショニング：既存の治療薬から別の疾患に有効な薬効を見つけ出し、新薬を開発すること

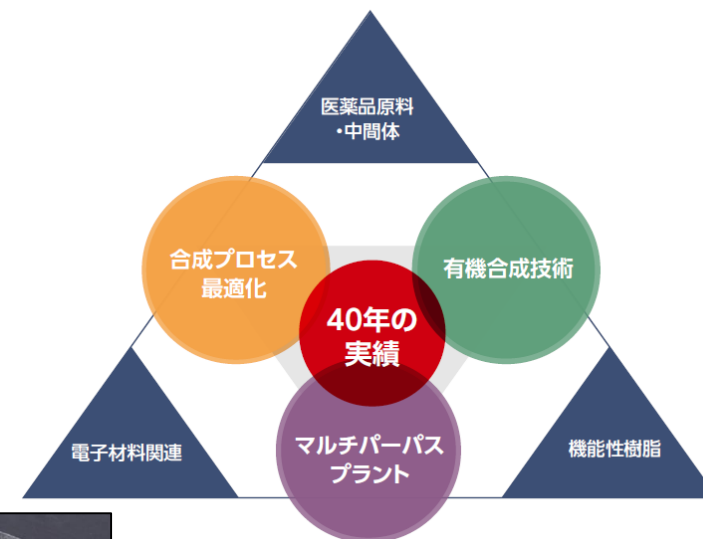




1. 日本精化グループの事業領域

精密化学品事業

- ・長年に渡り培った**有機合成技術**を活用し、再生可能エネルギーとして期待されるペロブスカイト太陽電池に用いる**正孔輸送材料**、次世代の高速通信(5G)に必須な低誘電率や回路基板に用いる高耐熱等の機能を持つ**樹脂材料**、特異な合成技術に基づく**医薬品中間体**等、多彩な産業分野に原料や中間体を供給
- ・天然脂肪酸を原料として製造した**脂肪酸アミド(アマイド)**を合成樹脂用滑剤等向けに提供。地球環境保全として開発された**生分解性樹脂用途**への展開に注力。
粉末冶金分野の使用材料へも用途拡大。
- ・**熱硬化型**や**紫外線硬化型**の**ハードコーティング剤**を提供。
防曇・帯電防止・耐指紋等表面に機能を付与した**コーティング剤**の開発強化。





1. 日本精化グループの事業領域

アルボース

- ・「**きれいをクリエイト**」をコーポレートスローガンとして、創業以来70余年に渡り、主として業務用衛生対策商品を開発・提供。また、総合衛生関連企業として、食品・医療機関・パブリックスペースなど幅広い分野において「**洗浄・殺菌・消毒**」に関する製品群とこれらを正しく有効に機能させる「**衛生管理サポート**」を提供。
- ・感染症対策に主力製品である**手指消毒剤「アルボナース」**の採用・導入が進む
- ・泡の色が変わるハンドソープや、濃縮化やすすぎ性能を改善した食器洗浄機用洗浄剤を開発（特許化）・発売中





2. 2021年度連結決算概要

- 5期連続増収増益、売上高・各利益で過去最高更新
- 直近予想比でも売上高・各利益いずれも達成

(単位:百万円)	2019年度	2020年度	2021年度	前年度比 増減率(%)	直近予想 (2021年10月28日公表)	
	実績金額	実績金額	実績金額		金額	予想比 増減率(%)
売上高	29,047	30,509	33,448	9.6%	32,500	2.9%
営業利益	3,641	3,939	4,881	23.9%	4,500	8.5%
営業利益率(%)	12.5%	12.9%	14.6%		13.8%	
経常利益	3,920	4,154	5,127	23.4%	4,800	6.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,621	2,758	3,472	25.9%	3,200	8.5%
1株当たり当期純利益 (円)	110.37	116.17	146.32		134.75	



2. 2021年度連結決算概要

- ・工業用製品：大幅回復、コロナ前（2019年度）以上の水準に
- ・家庭用製品：前年度比減少も、コロナ前以上の業績維持

報告セグメント (単位:百万円)		2019年度	2020年度	2021年度	2021年度 前年度比増減	
					金額	率
工業用製品	売上高	20,573	19,305	23,600	4,295	22.2%
	営業利益	2,747	2,293	3,621	1,328	57.9%
	営業利益率	13.4%	11.9%	15.3%		
家庭用製品	売上高	7,337	10,069	8,646	△ 1,423	△ 14.1%
	営業利益	619	1,423	927	△ 495	△ 34.8%
	営業利益率	8.4%	14.1%	10.7%		
その他※	売上高	1,136	1,134	1,201	67	5.9%
	営業利益	274	223	332	109	49.1%
	営業利益率	24.1%	19.7%	27.7%		

※その他：不動産事業及び薬理・安全性試験の受託を行う事業



2. 2021年度連結決算概要

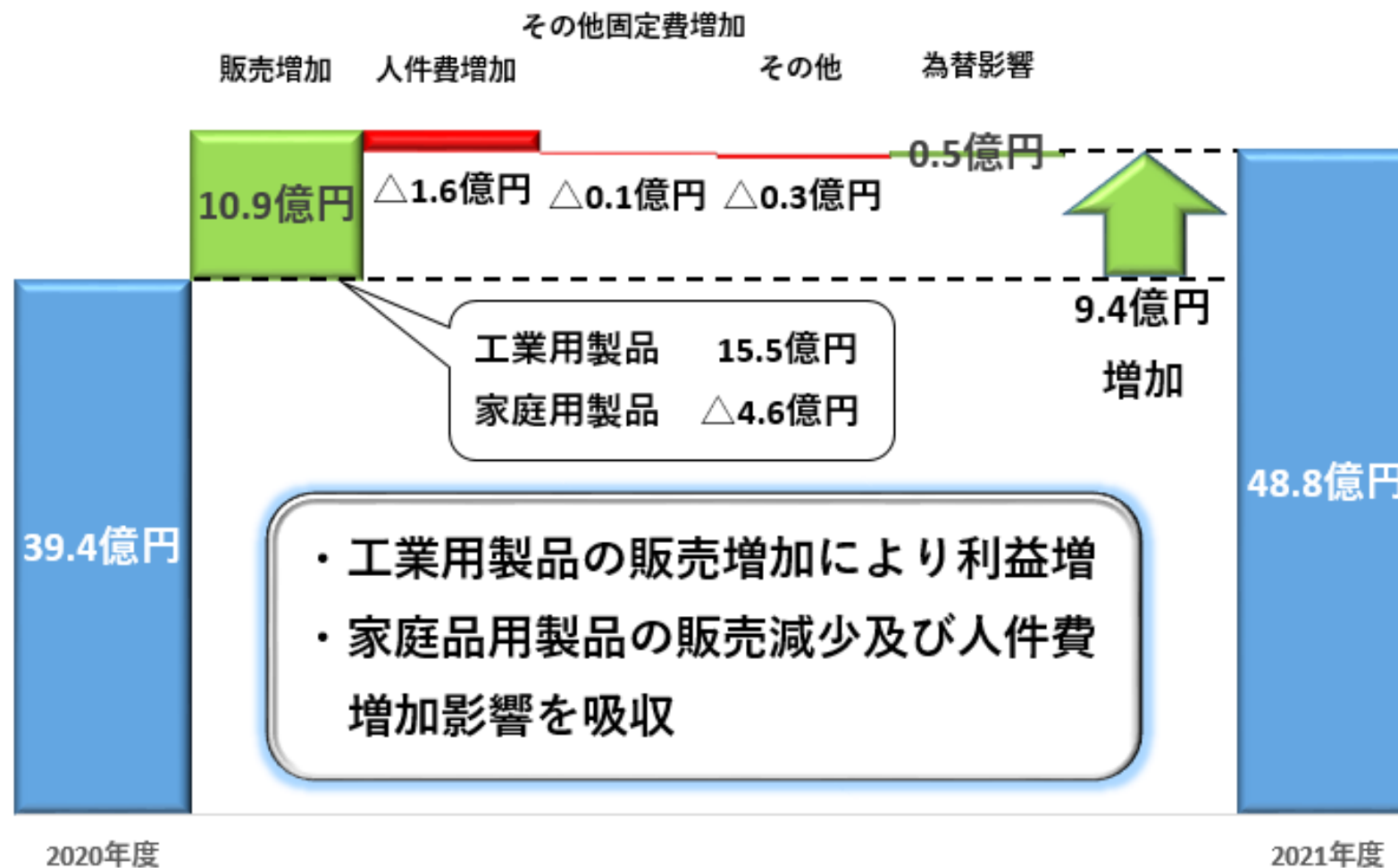
・主要事業区分ごとの売上高の状況

報告セグメント	主要事業	状況 (前年度比)	概要
工業用 製品	香粧品事業 (化粧品用原料)	+23%	中国・国内の化粧品市場の回復、及び顧客の大型製品に当社品が採用
	ラノリン・ コレステロール事業	+23%	中国・米国の景気回復に伴い海外向け販売が大幅増加
	リピッド事業 (医薬用リン脂質)	+25%	海外向け拡販が計画通りに進捗
	精密化学品事業	+26%	機能性コーティング剤は減少も、汎用工業用原料は、半導体・自動車などの需要回復
家庭用 製品	アルボース	△14%	新型コロナウイルス感染症対策製品市場は底堅く推移も、新規業者参入影響等あり、品薄状態解消



2. 2021年度連結決算概要

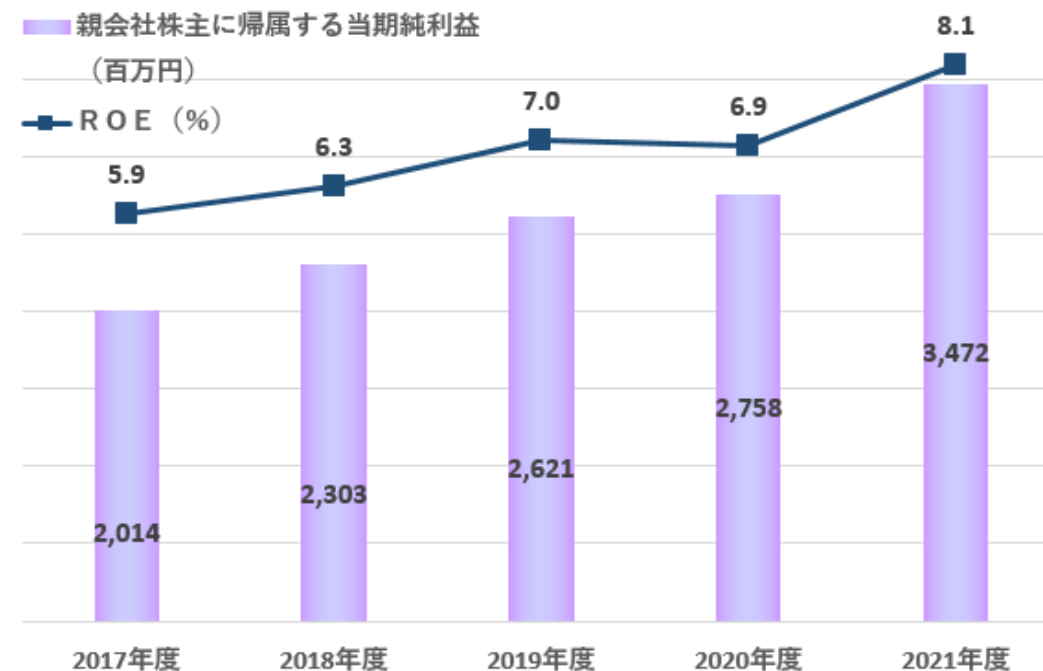
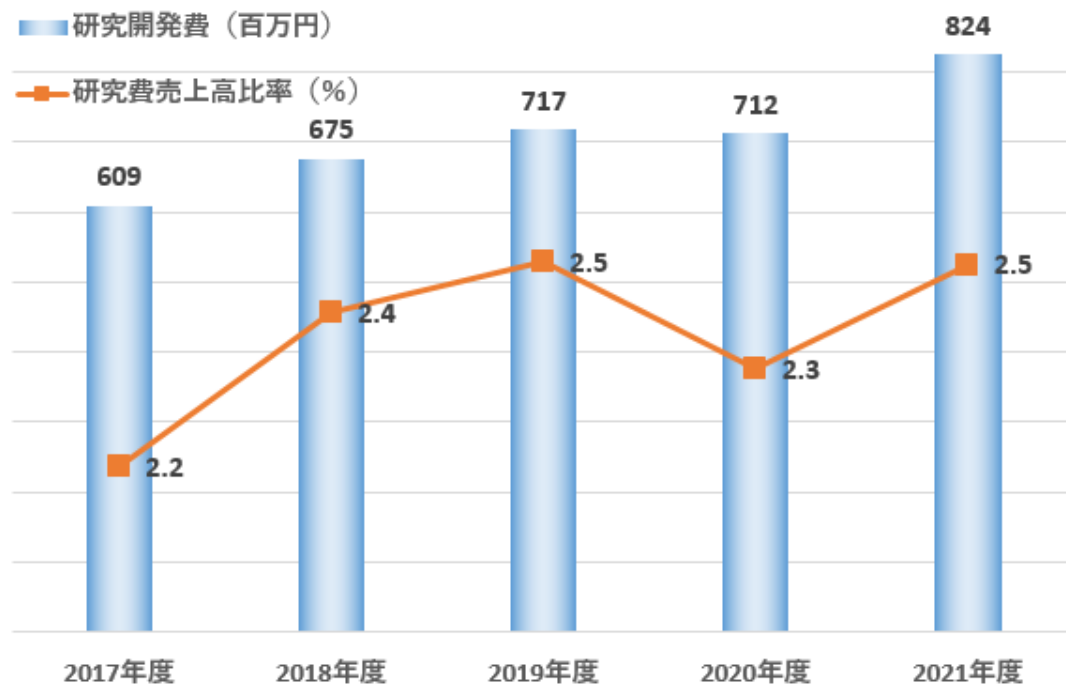
・営業利益増減分析（対前年度比）





2. 2021年度連結決算概要

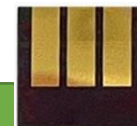
・(連結)研究開発費及びR O E 推移



- ・ (化粧品用原料) サステナブルの要請に対応し、RSPOやNon-GMO製品等を開発
- ・ (医薬用リン脂質) アンメットメディカルニーズやドラッグ・リポジショニングに対応する独自製品開発
- ・ (精密化学品) 次世代太陽電池に用いられる材料等の評価系を習得し、自社製品の開発にも注力

・ R O E は2019年度を超え過去最高に

国立研究開発法人産業技術総合研究所 (産総研) との共同研究で新しい太陽電池に用いられる素材開発に成功





2. 2021年度連結決算概要

・貸借対照表（単位：百万円）

勘定科目	2021年度末残高	前年度末比増減	主な増減要因
現預金	12,862	△1,510	
売掛債権	8,703	+ 829	販売増加
たな卸資産	8,420	+ 1,870	原材料確保、販売増加に対応
有形固定資産	12,772	+ 1,542	医薬用リン脂質投資（建設仮勘定）
投資その他資産	11,503	△1,293	投資有価証券含み益減少、一部売却
その他	544	+ 104	
資産合計	54,807	+ 1,542	
買掛債務	3,928	△15	
繰延税金負債	2,267	△392	
その他	4,051	236	
負債合計	10,247	△171	
純資産合計	44,560	+ 1,713	自己資本比率79.8%（前年度末比+0.7%）
一株当たり純資産	1,851.84円	+78.30円	

業績好調・設備投資により
資産増加

利益積み上げにより自己資本比率は前年度比改善



2. 2021年度連結決算概要

・キャッシュ・フロー（CF）計算書（単位：百万円）

区分	2021年度	主な要因
税前利益	5,017	
減価償却費	1,070	
運転資本増加	△2,637	原材料確保、販売増加影響
法人税等支払	△1,185	
その他	21	
営業CF	2,285	
投資CF	△2,741	有形固定資産取得△2,813
（フリーCF）	（△455）	
財務CF	△1,399	期末及び中間配当△1,032
換算差額	78	
現金同等物増減	△1,776	

税前利益増加も、運転資本増加によるマイナス影響あり

設備投資・配当（増配）により現金同等物は減少



3. 2021年度トピックス（ポートフォリオ）

・資産ポートフォリオの最適化を継続

①減損処理済資産の売却

前年度（2020年度）に減損処理した共用資産を売却

⇒固定資産売却益**37百万円**を計上

②賃貸用不動産の減損

所有する賃貸用不動産のうち、含み損を抱える物件を売却予定

⇒減損損失**△89百万円**を計上

③政策保有株式の一部を売却、自社株買いを実施

⇒投資有価証券売却損**△2百万円**を計上、総還元性向**45%**程度に

今後も事業・資産ポートフォリオの最適化に取り組む

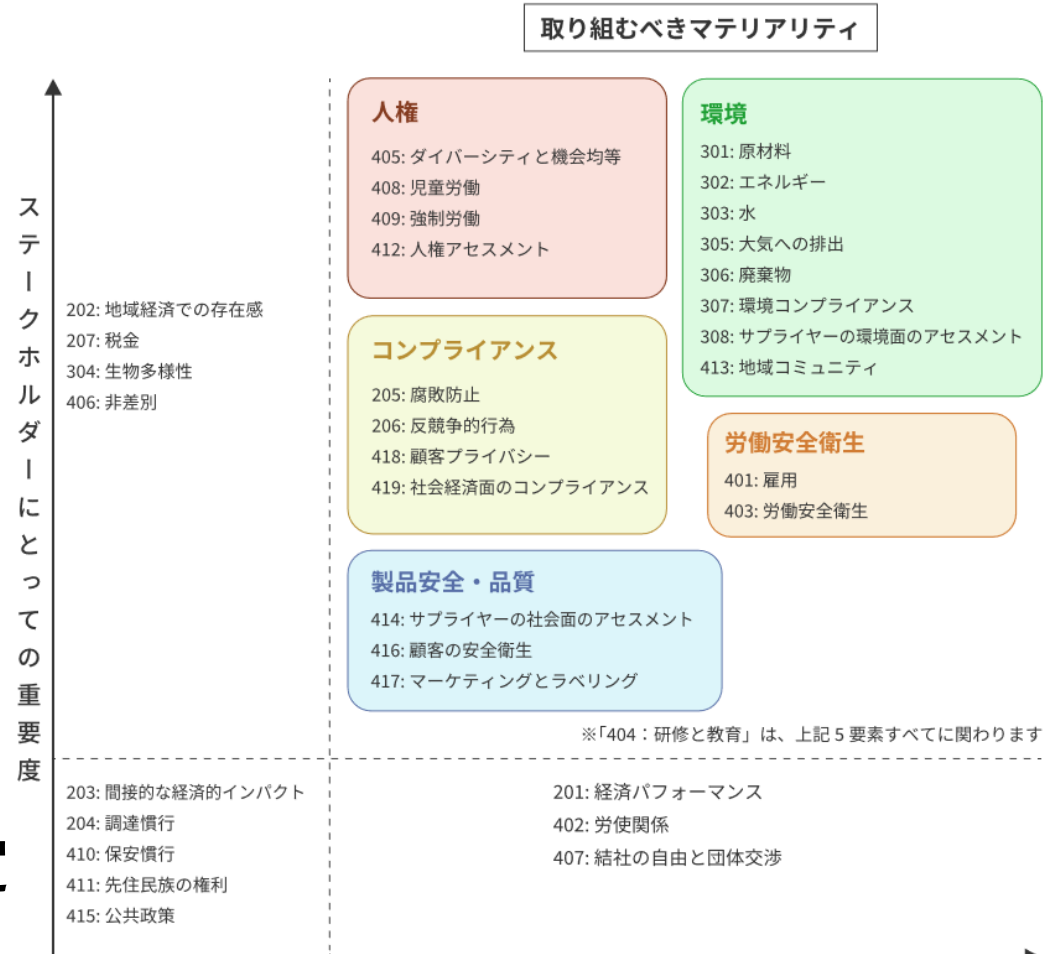


3. 2021年度トピックス（サステナビリティ等）

・サステナビリティ推進委員会及びサステナビリティ推進室設置

・マテリアリティ（自社に関わる重要課題）公表、具体的な取組内容とKPI（評価指標）設定
⇒目標数値は6月開示予定

・TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言への賛同表明
⇒提言に沿った取り組みは6月開示予定





3. 2021年度トピックス（IR関連）

- 配当方針の変更

- ⇒ **DOE（連結純資産配当率）3.0%**を目安、配当の向上と安定化を明確に

- 東証プライム市場への移行完了

- 改定後コーポレートガバナンス・コードへの対応促進

- ⇒ 指名報酬委員会委員の過半数を独立社外取締役に

- ⇒ 「議決権電子行使プラットフォーム」への参加



- 開示及びIR活動の充実（2022年5月～）

- ⇒ 機関投資家・アナリスト向け**決算説明会**を開催

- ⇒ **英文開示資料**（決算短信、決算説明会資料、招集通知）を掲載予定



4. 2022年度連結業績予想

- 売上高は前年度比増加・過去最高更新見通しも営業利益横ばい
- 中期経営計画比では、売上高は未達も営業利益は大幅達成

(単位:百万円)	2021年度	2022年度	前年度比 増減率(%)	中期経営計画 (最終年度)	
	実績金額	予想金額		目標金額	予想比 増減率(%)
売上高	33,448	36,000	7.6%	39,000	△7.7%
営業利益	4,881	4,850	△0.7%	3,900	24.4%
営業利益率(%)	14.6%	13.5%		10.0%	
経常利益	5,127	5,200	1.4%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,472	3,500	0.8%		
1株当たり当期純利益 (円)	146.32	148.20			
EBITDA (償却前営業利益)	5,952	5,850	△1.7%		

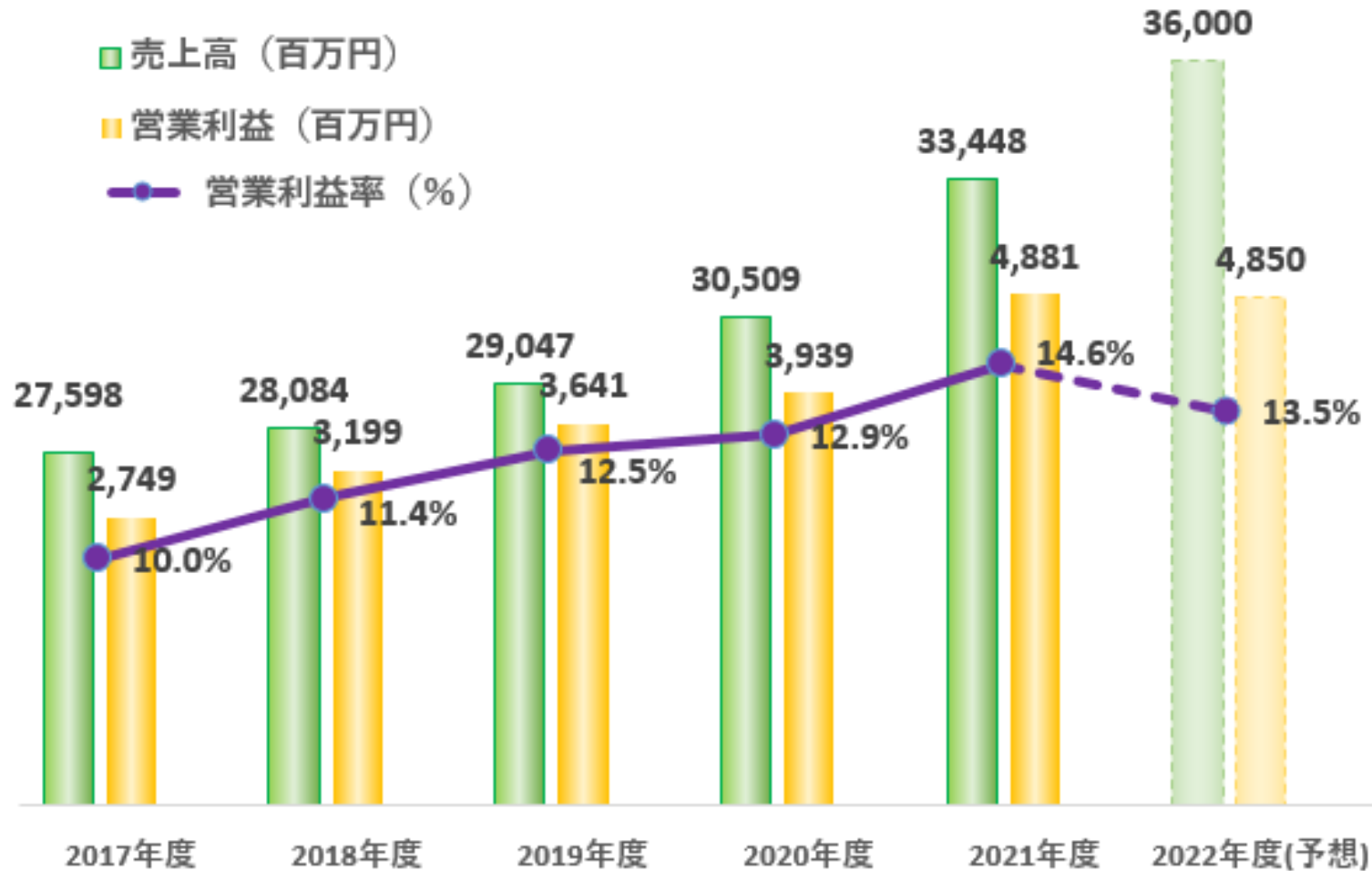
※前提レート
1米ドル=120円
1ユーロ=130円

※2022年度より
減価償却方法を
定額法に統一



4. 2022年度連結業績予想

・売上高、営業利益及び営業利益率推移





4. 2022年度連結業績予想

- 工業用製品：原料価格上昇、医薬用リン脂質先行投資あり
- 家庭用製品：売上高増も原料価格上昇影響で営業利益前年度並

報告セグメント (単位:百万円)		2021年度	2022年度	増減	
				金額	率
工業用製品	売上高	23,600	25,600	1,999	8.5%
	営業利益	3,621	3,650	28	0.8%
	営業利益率	15.3%	14.3%		
家庭用製品	売上高	8,646	9,100	453	5.2%
	営業利益	927	900	△ 27	△ 3.0%
	営業利益率	10.7%	9.9%		
その他※	売上高	1,201	1,300	98	8.2%
	営業利益	332	300	△ 32	△ 9.8%
	営業利益率	27.6%	23.1%		

※その他：不動産事業及び薬理・安全性試験の受託を行う事業



4. 2022年度連結業績予想

・主要事業区分ごとの売上高の状況

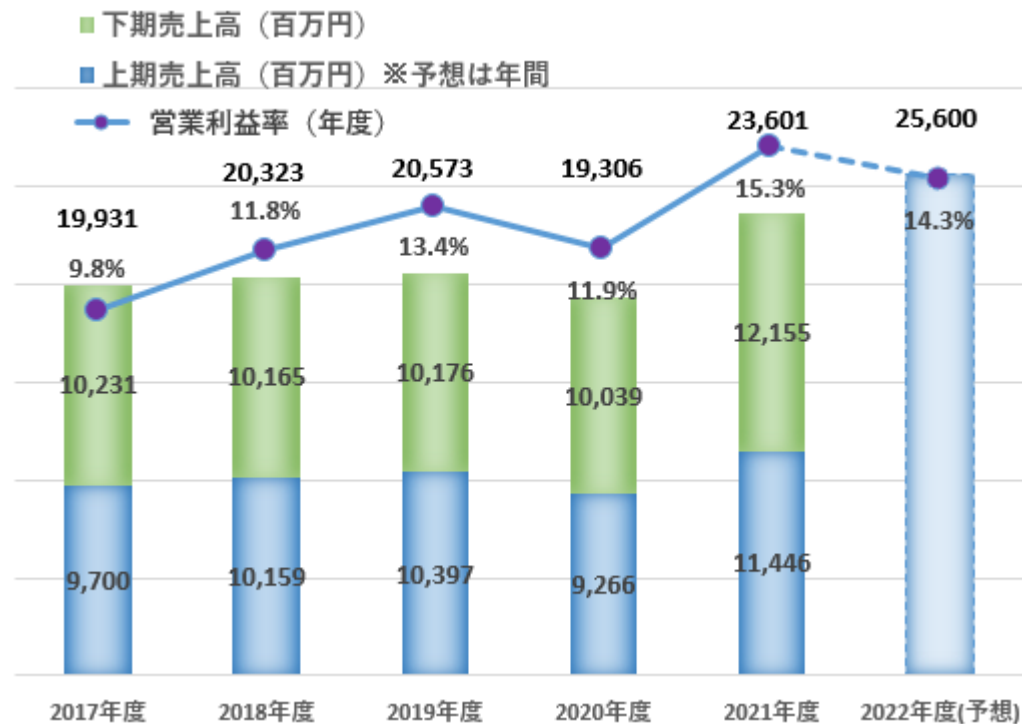
報告セグメント	主要事業	状況 (前年度比)	概要 (予想)
工業用 製品	香粧品事業 (化粧品用原料)	+13%	国内市場は来年にかけコロナ前水準へ回復と想定、海外市場は各国のニーズに訴求する販促活動注力
	ラノリン・ コレステロール事業	+1%	前年度 (2021年度) 大幅に増加した海外向け販売が引き続き好調
	リピッド事業 (医薬用リン脂質)	+5%	海外向け拡販は安定
	精密化学品事業	+13%	機能性コーティング剤が回復、脂肪酸アマイドも伸長
家庭用 製品	アルボース	+7%	新型コロナウイルス感染症対策製品市場は拡大、アルボナースブランド浸透



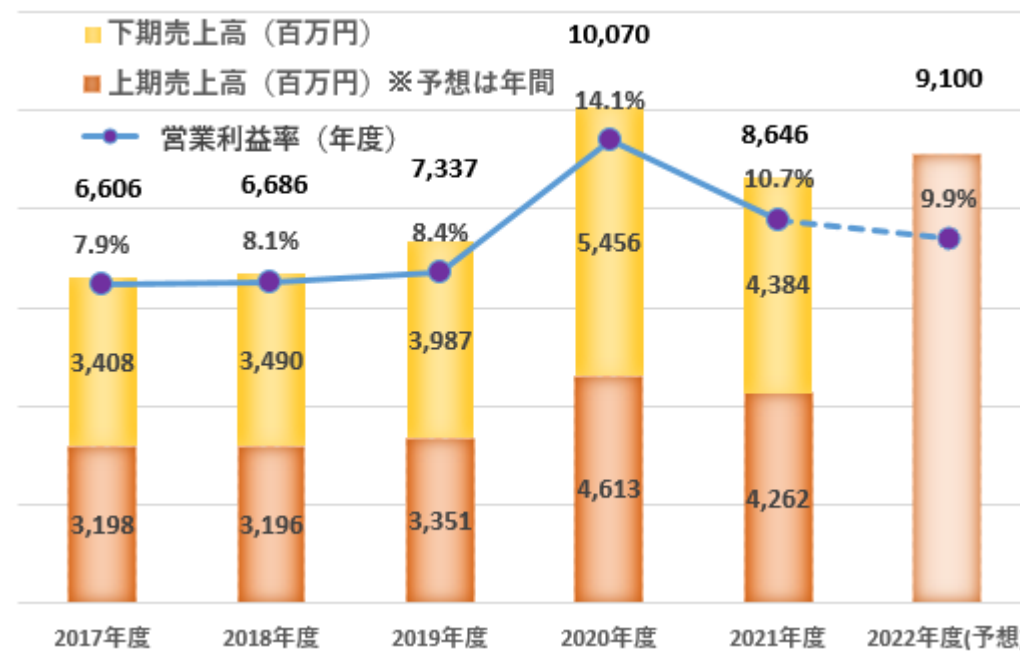
4. 2022年度連結業績予想

・セグメント別推移

工業用製品



家庭用製品



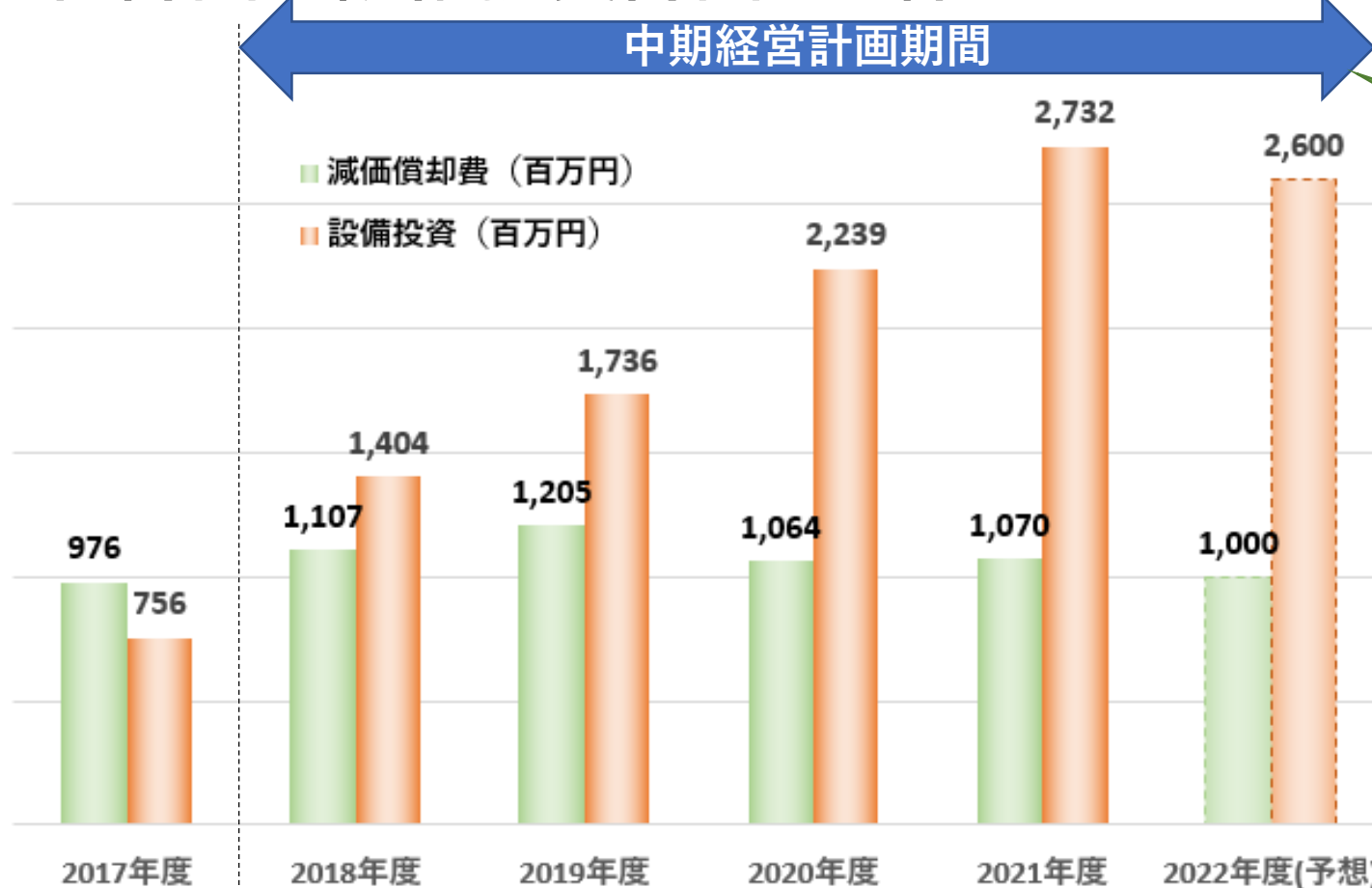
- ・売上高は過去最高水準の前年度比伸長
- ・利益率は前年度比低下も高水準を維持

- ・売上高は前年度比増、コロナ前より増加維持
- ・利益率は前年度並み、コロナ前より高水準



4. 2022年度連結業績予想

- 設備投資（固定資産計上ベース）及び減価償却費
中期経営計画の設備投資計画※を着実に実施予定



設備投資総額
約107億円の
見込み

※設備投資計画
2022年度までの5年
間で総額100億円

※2022年度より
減価償却方法を
定額法に統一



4. 2022年度連結業績予想

・ 主な設備投資計画進捗状況

現時点では概ねスケジュール通り進捗

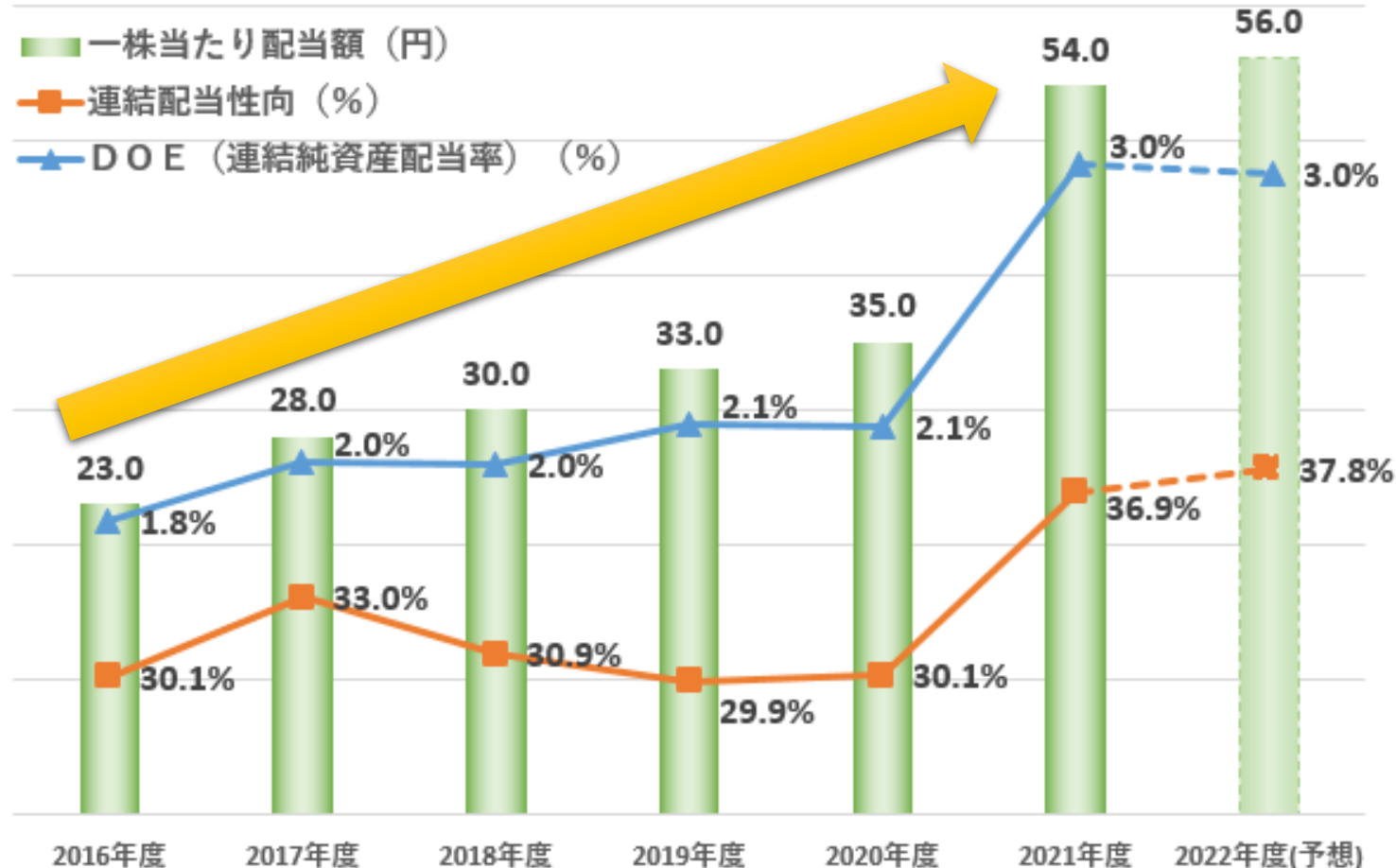
事業	投資案件	投資金額	生産能力等	稼働予定時期
リピッド事業 (医薬用 リン脂質)	① 医薬用リン脂質 新プラント	27億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現有プラントの約2倍 ・ 小～中規模スケール 高付加価値品製造に対応 	2022年度下期
	② ギリアドとの アライアンスに 基づく新工場	②③合計 31億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現有工場の約2倍 	2024年頃
	③ 医薬用リン脂質 事務所棟新設		<ul style="list-style-type: none"> ・ 5階建て ・ 研究機能併設 	2022年度上期
	総額		58億円	





4. 2022年度連結業績予想

- 配当方針※公表、2021年度は前期比+19円／株（5期連続増配）
- 2022年度も配当方針に基づき増配継続予想



※配当方針

DOE（連結純資産配当率）3.0%を目安とし、配当水準の向上と安定化を目指す



5. ご参考：会社概要

商号	日本精化株式会社
証券コード、業種	4362（東証プライム）、化学
設立	1918年2月
本社所在地	大阪市中央区
社長	矢野 浩史
資本金	59億33百万円
従業員数（2022年3月末）	684名（連結）
売上高（2022年3月期）	334億円（連結）
子会社数（2022年3月末）	7社(国内5社、海外2社)



5. ご参考：会社沿革及び主な事業領域

※100周年記念コンテンツ

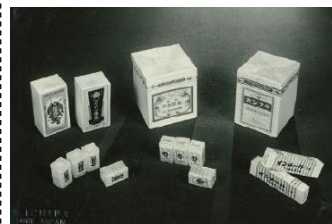
(<https://www.nipponseika.co.jp/company/100th/>) もご覧ください。



日本樟脳株式会社設立

油脂・精密化学品

樟脳・家庭品



脂肪酸クロライド
脂肪酸アמיד

化粧品用原料

エセラン

アルブチン(生理活性物質)

化粧品用リン脂質複合体(リン脂質素材)

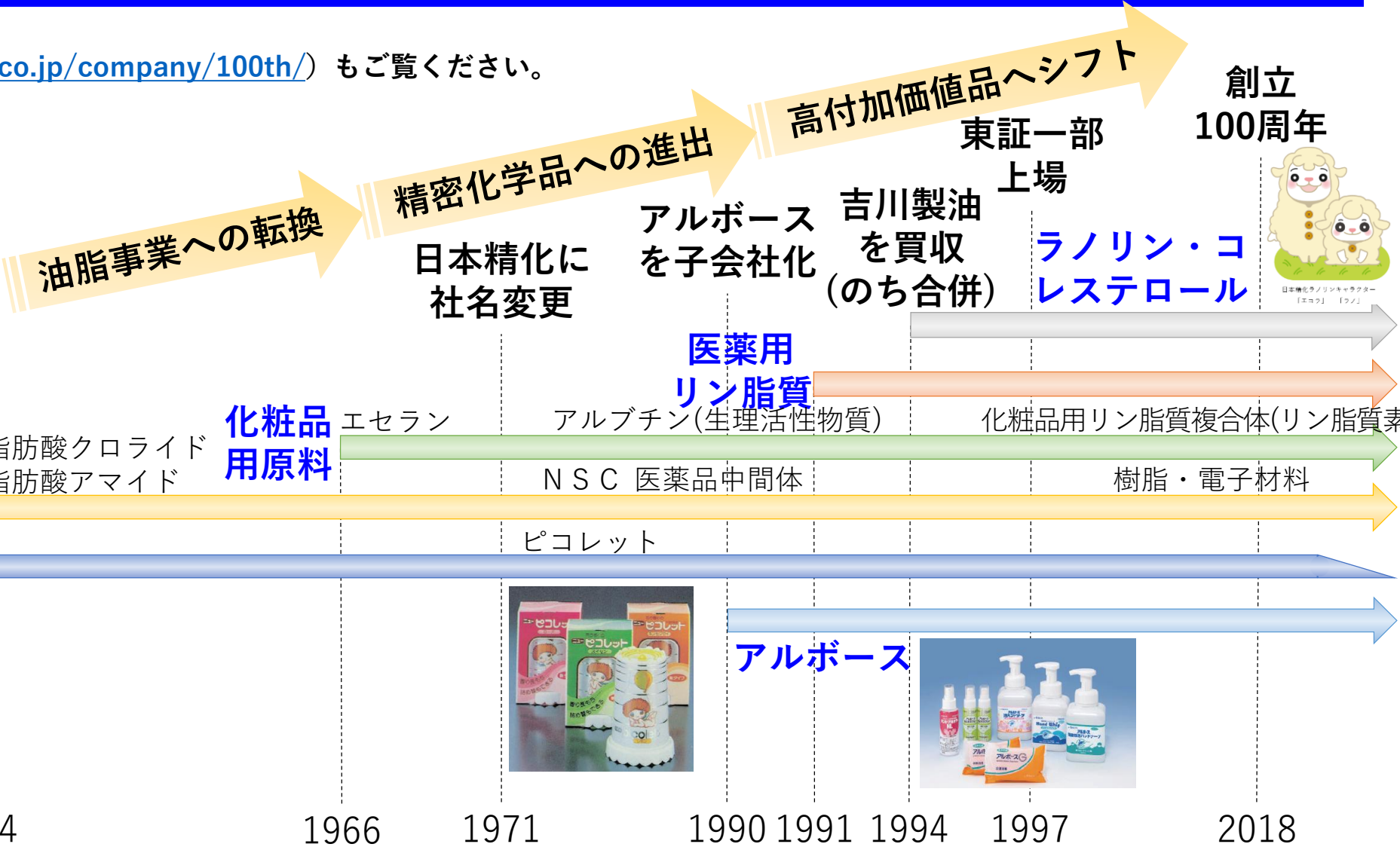
N S C 医薬品中間体

樹脂・電子材料

ピコレット



アルボース



油脂事業への転換

精密化学品への進出

高付加価値品へシフト
東証一部
上場

日本精化に社名変更

アルボースを子会社化

吉川製油を買収(のち合併)

ラノリン・コレステロール

創立100周年



日本精化ラノリンセッケン「エッコ」 「ラノ」



- 本資料に記載している業績予想等に関する記述は各資料の作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。
- Ecolano、Presomeは、日本精化株式会社の登録商標です。